

# がんゲノム医療連携委員会

## Plan 計画

- 1 当病院のがんゲノム医療のシステム継続と見直し。
- 2 新たな診療報酬算定項目に対応していく。
- 3 院内及び院外に向け、がんゲノム医療の広報活動を行う。
- 4 東京大学医学部附属病院と連携し、円滑な運営方法の構築。
- 5 エキスパートパネル(web)へのスムーズな参加
- 6 がんゲノム医療における個人情報保護。

## Do 実行

- 1 がんゲノム医療連携委員会の開催。
  - ・院内フローの改定(ファウンデーションワンリキッドの登場)に合わせて)
  - ・各診療科、部署との業務内容検討、連携。
  - ・がんゲノム医療についての院内周知。
  - ・院内エキスパートパネル開催。
- 2 東京大学医学部附属病院との連携・調整。
  - ・病理検体等の発送方法の確認。
  - ・エキスパートパネルに参加(Web会議体制の構築)
- 3 HPの改定。(随時更新)
- 4 個人情報保護の強化。

## Action 改善

- 1 院内フローの運用に不具合があれば随時修正する。
- 2 エキスパートパネルのWebシステムに不具合があれば随時修正する。
- 3 東京大学医学部附属病院と連携し、常に情報交換を行う。
- 4 電子データや書類の紛失、院外への漏洩がないかを常に確認を行う。

## Check 評価

- 1 がんゲノム医療連携委員会での確認・検討。
- 2 院内エキスパートパネルでの確認・検討。
- 3 がん診療連携拠点病院院内協議委員会への報告。
- 4 東京大学医学部附属病院への報告。(Webによるエキスパートパネルでのchat機能活用など)